

水道事業会計の仕組み

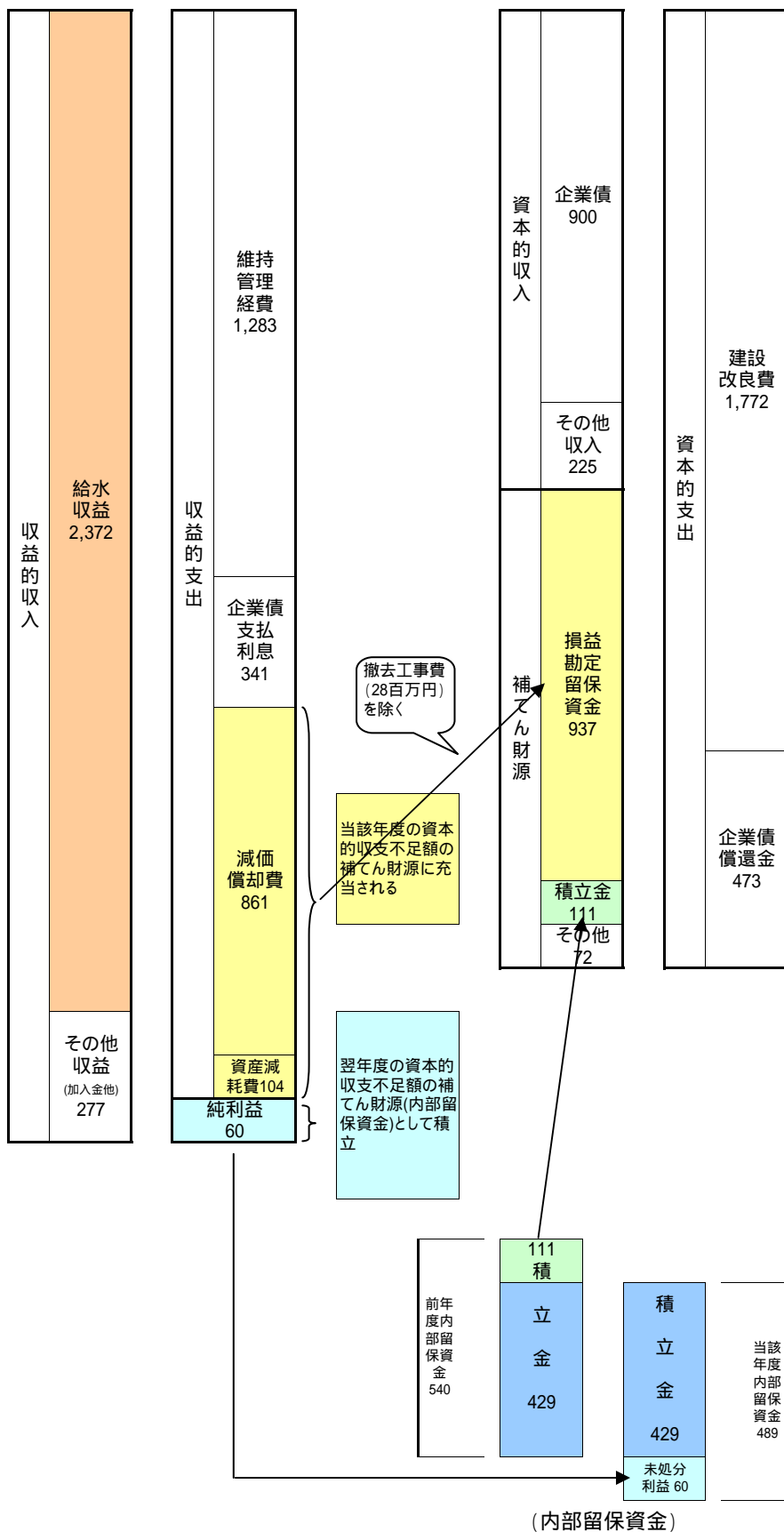
収益的収入及び支出と資本的収入及び支出の関係 (単位: 百万円)

< 平成20年度 >

(収益的収入及び支出)

(資本的収入及び支出)

(仕組みの説明)



企業会計の予算・決算につきましては、一般会計と異なり、「収益的収入及び支出」と「資本的収入及び支出」で構成されています。

まず、「収益的収入及び支出」ですが、企業の経営活動に伴って発生する収入と支出で、給水収益及び加入金などの収入と、人件費、委託料、動力費などの維持管理費及び企業債支払利息のほかに減価償却費などの支出があります。

なお、減価償却費は支出ですが、実際に現金支出を伴わないため、その分だけ企業としては資金を確保しておくことができます。

また、収益的収入と支出に差がありますが、収益が支出を上回っていますので、この部分が純利益となります。

次に「資本的収入及び支出」は、施設の整備・拡充のための収入と支出で、国やその他の機関からの借入金にあたります企業債、負担金などの収入と、施設の整備・拡充のための建設改良費及び企業債償還金の費用があります。

資本的収入と支出に差がありますが、これは、資本的収入には建設改良費に充てるための企業債などの財源しかありませんので、当然収入が支出を下回り、必ず財源不足が生じることになります。

最後に、内部留保資金になりますが、一般家庭における貯金と同じで、企業が内部に蓄えている資金のことです。この資金は、先ほど説明いたしました収益的収支で出ました純利益を毎年積み立てたもので、資本的収支の不足額の補てん財源として使うことができます。また、資本的収入の不足額の補てんには先ほど説明しました減価償却費も損益勘定留保資金として使うことができます。

(内部留保資金)